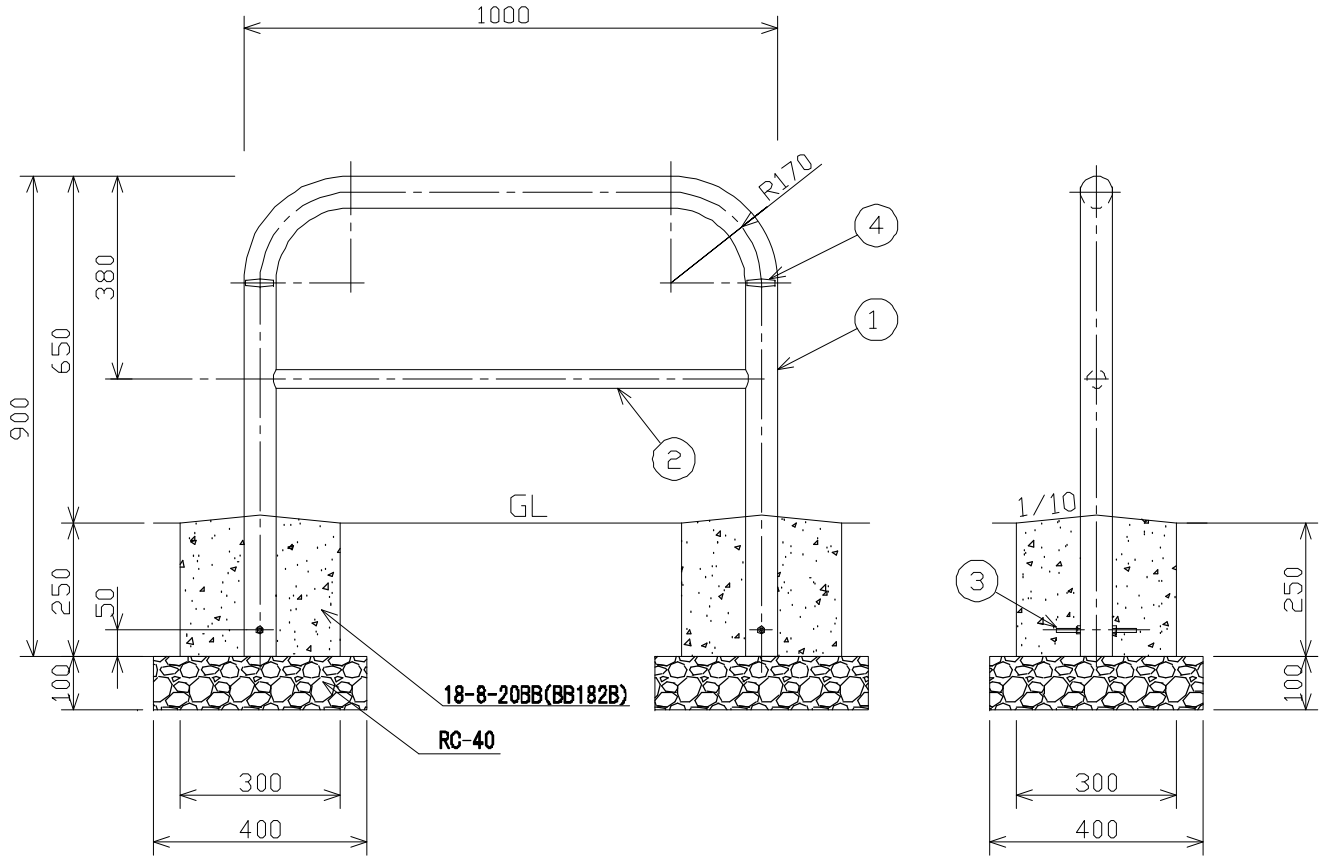
付帯工
車止柵
固定式

車止柵(固定式)構造図 S=1:10



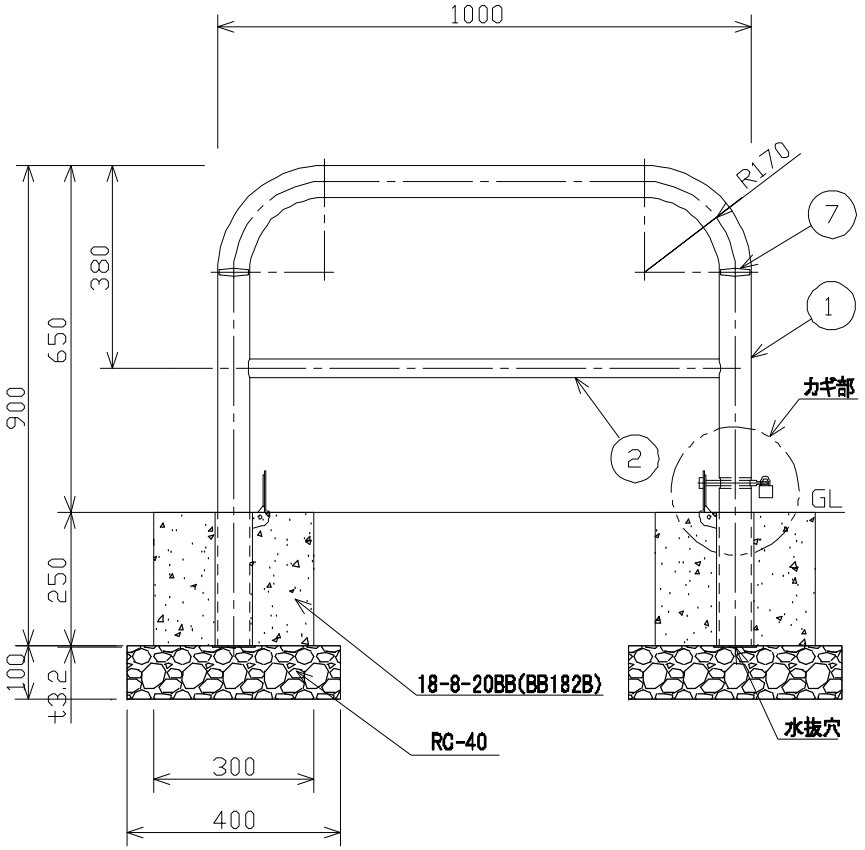
材 料 表　　(1基当り)

材 料 名	形 状 寸 法	単位	数 量
車止柵	H=0.65 B=1.0	基	1.0
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m3	0.04
再生クラッシャラン	RC-40	m3	0.03

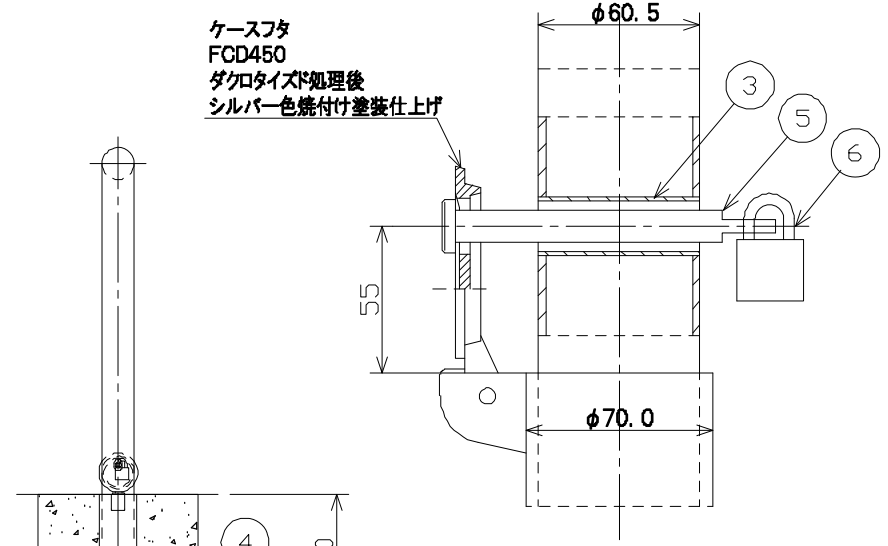
No	部 品 名	材 質	規 格	備 考
4	反射テープ			2巻貼り付け
3	アンカーボルト	SS400	M8X150	ユニクロメッキ仕上げ
2	中 桟	STK400	φ34Xt2.3	溶融亜鉛メッキ後 指定色(白)塗装仕上げ
1	支 柱		φ60.5Xt2.8	

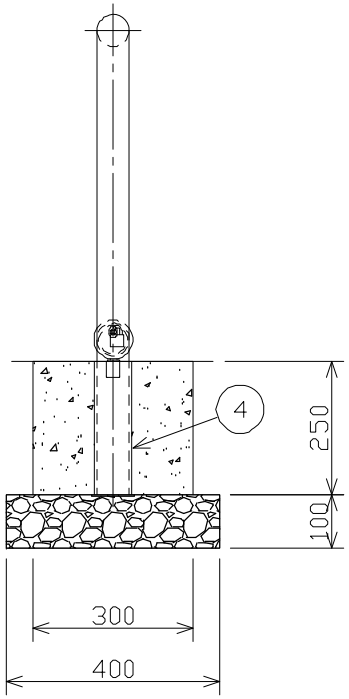
付帯工
車止柵
脱着式

車止柵(脱着式)構造図 S=1:10



カギ部断面詳細図 S=1/2





材 料 表 (1基当り)

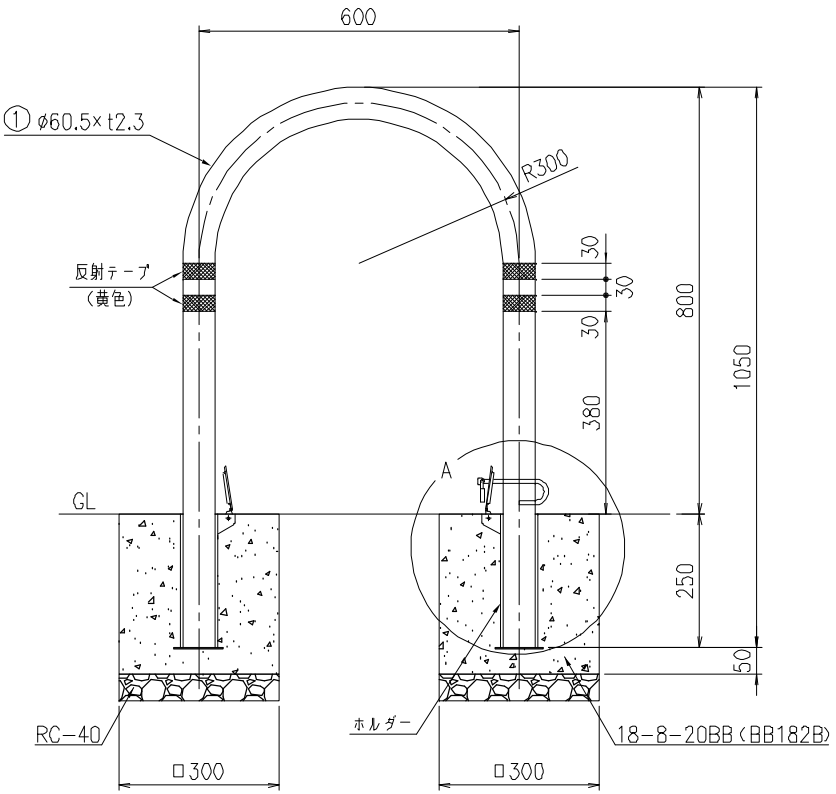
材 料 名	形 状 寸 法	単位	数 量
車止柵	H=0.65 B=1.0	基	1.0
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m3	0.05
再生クラッシャラン	RC-40	m3	0.03

No	部 品 名	材 質	規 格	備 考
7	反射テープ			2巻貼り付け
6	カ ギ		25ミリ南京錠	カギNO:10C-15
5	カギボルト	SS400	φ12×107✓	ユニクロメッキ仕上げ
4	フタ付きケース	STK400	φ70.0×t2.8	溶融亜鉛メッキ仕上げ
3	ガイドパイプ	SUS304	φ21.7×t1.5	
2	横 桟	STK400	φ34.0×t2.3	溶融亜鉛メッキ後 指定色(白)塗装仕上げ
1	支 柱	STK400	φ60.5Xt2.8	

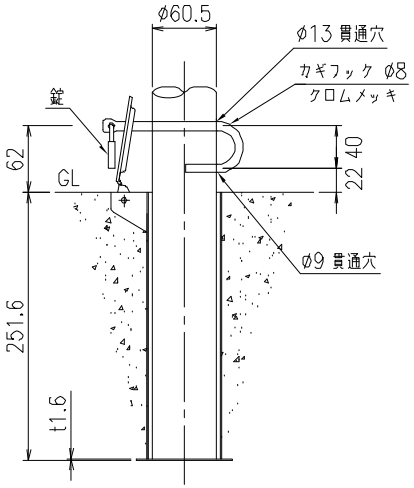
付帯工
車止柵
脱着式
B=0.6

車止柵(脱着式)構造図
B=0.6

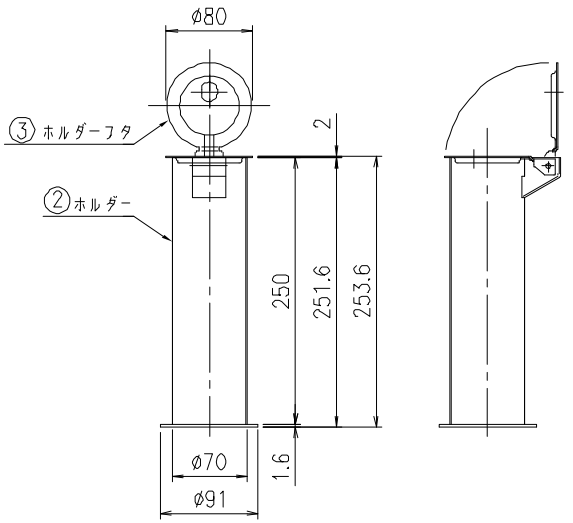
設置図 S=1:10



A部詳細図 S=1:5



ホルダー詳細図 S=1:5



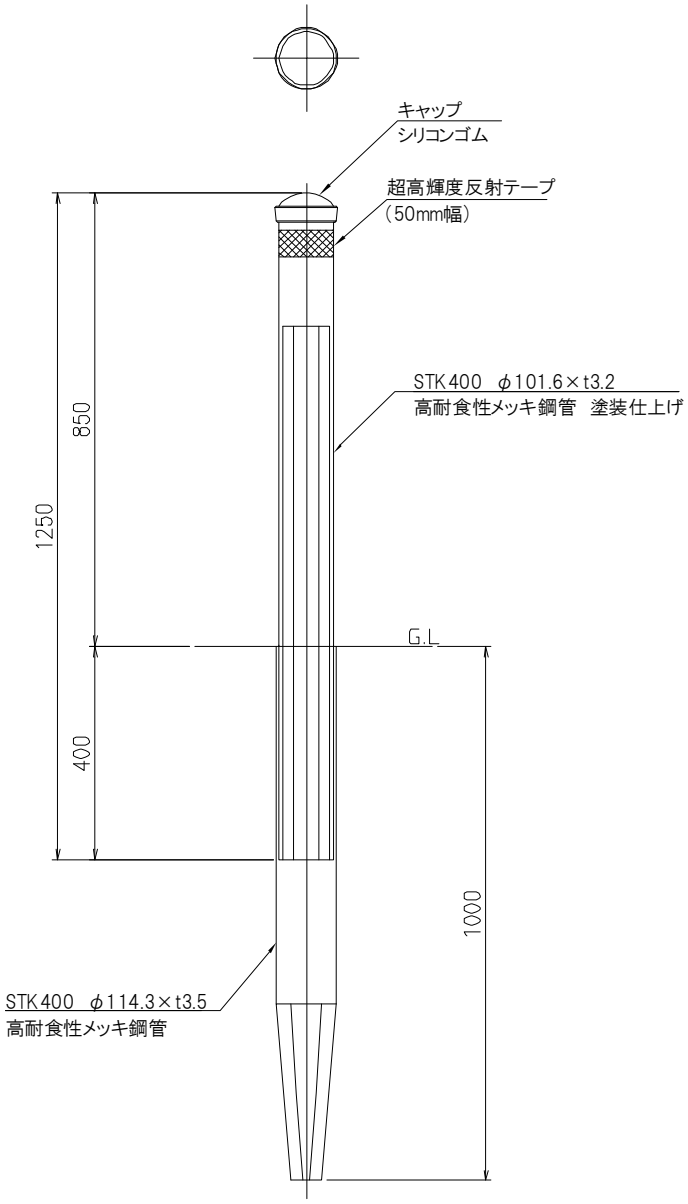
材 料 表 (1基当り)

材 料 名	形 状 寸 法	単位	数 量
車止柵	H=0.8 B=0.6	基	1.0
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m3	0.05
再生クラッシャラン	RC-40	m3	0.01
反射テープ		巻	2巻貼付け

No	部品名	材質	規格	備考
3	ホルダーフタ	SUS		
2	ホルダー	STKM		溶融亜鉛めっき
1	支柱	STK400	φ60.5Xt2.3	亜鉛めっき+静電粉体塗装

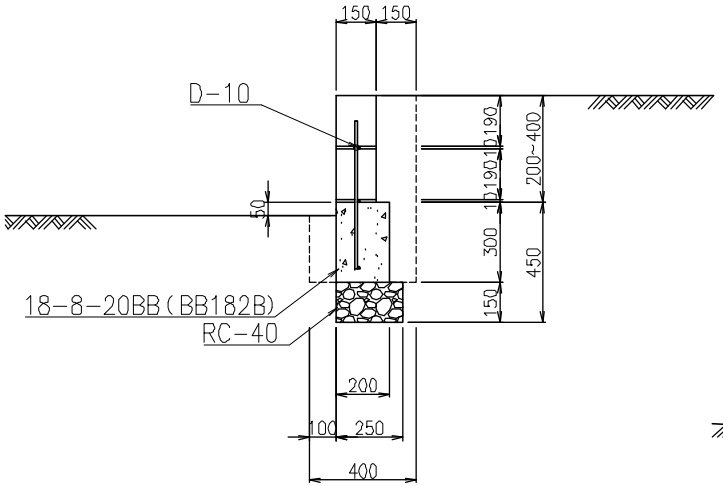
付　帯　工
車　止　柵
固　定　式
H型ボラード （土中式）

車止柵（固定式）構造図
単柱型

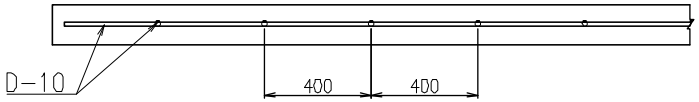


ブロック土留工構造図　S＝1：20

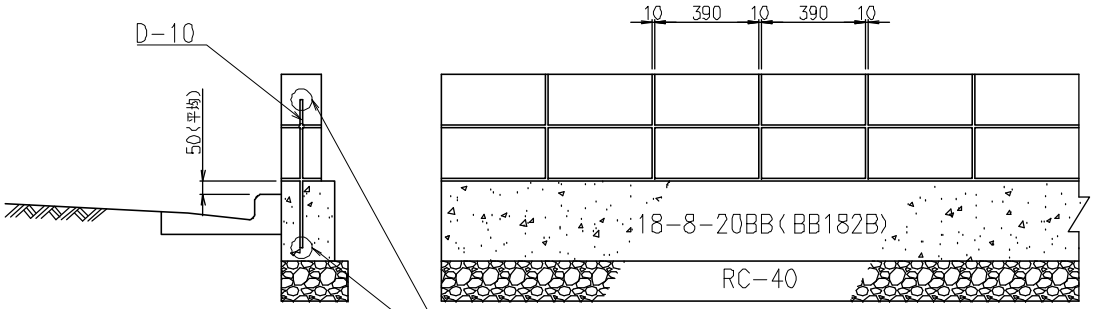
断面図



平面図



正面図



※鉄筋の末端はかぎ掛け又は溶接し、
十分なかぶりを確保すること。
※180° フックでかぎ掛けする場合は余長4d以上、
90° フックの場合は余長12d以上とすること。

材料表(基礎)　(100m当り)

材料名	形状寸法	単位	数量 1段	数量 2段
コンクリート	18-8-20BB (BB182B)	m3	6.0	6.0
再生クラッシャラン	RC-40	m3	3.8	3.8

材料表　(100m当り)

材料名	形状寸法	単位	数量 1段	数量 2段
コンクリートブロック	空洞ﾌﾞﾛｯｸ150×190×390	個	250.00	500.00
モルタル	1:2	m3	0.20	0.30
コンクリート	手練り 18-8-20BB (BB182B)	m3	0.60	1.40
異形鉄筋	D10mm	t	0.154	0.238
水抜管	φ40mm	m	0.25	0.5

※　水抜管 3.0m2／本　15m／本

塀（コンクリートブロック塀等）関連基準

補強コンクリートブロック造

■構造		
高さ	最大2.2m以下 *1	
厚さ	高さ2.0m超え	15cm以上
	高さ2.0m以下	10cm以上
控壁	高さ1.2m超え	長さ3.4m以下ごとに、高さの1/5以上突出 *2
基礎(RC)		基礎の丈：35cm以上　根入れの深さ：30cm以上
基礎(RC)	高さ1.2m以下	基礎の丈・根入れの深さの制限は無し 風圧力、地震力等について安全性を確認すること
■配筋		
壁頂・基礎には横、壁の端部・隅角部には縦に、径9mm以上の鉄筋を配置すること		
壁内には、径9mm以上の鉄筋を縦横に80cm以下の間隔で配置すること		
鉄筋の末端は、かぎ状に折り曲げて、縦筋は壁頂及び基礎の横筋に、横筋はこれらの縦筋に、それぞれかぎ掛けして定着すること		
■目地及び空胴部		
充填	鉄筋を入れた空胴部、縦目地に接する空胴部には、モルタル又はコンクリートを充填すること	
縦筋	縦筋は空胴部内で継いではならない（溶接接合その他これと同等以上の強度を有する接合方法による場合を除く）	

組積造（大谷石積・レンガ積等）

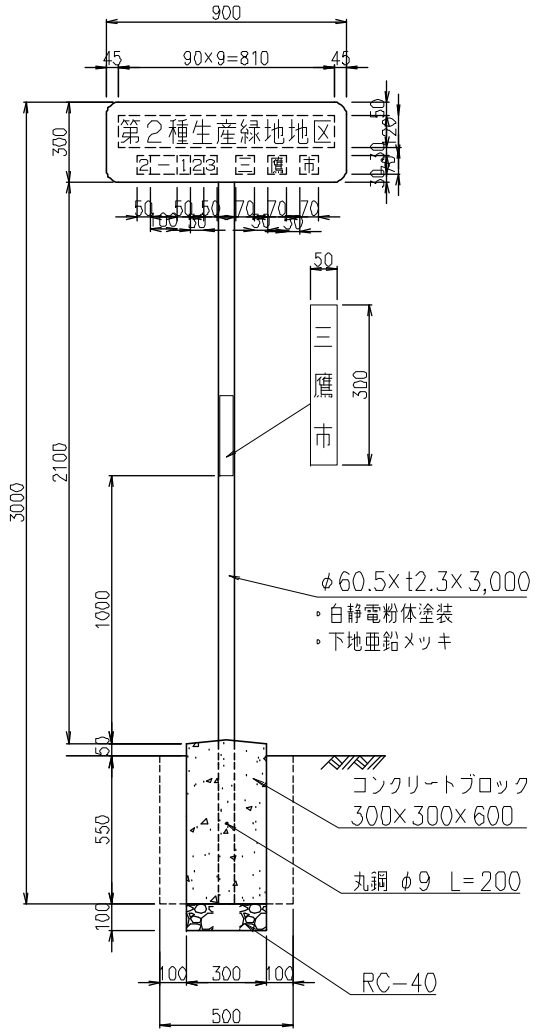
■構造	
高さ	最大1.2m以下 *1
厚さ	高さの1/10以上
控壁	長さ4.0m以下ごとに壁の厚さの1.5倍以上突出 *2 壁の厚さ≧高さの1/10以上×1.5の場合は不要
基礎(RC)	根入れの深さ：20cm以上
■施工	
組積	芋目地（格子状）が出来ないように組積すること

*1　「高さ」は、塀の両側の地盤から測った高い方の高さを指す。
　　このため、隣地と高低差がある場合は注意すること。

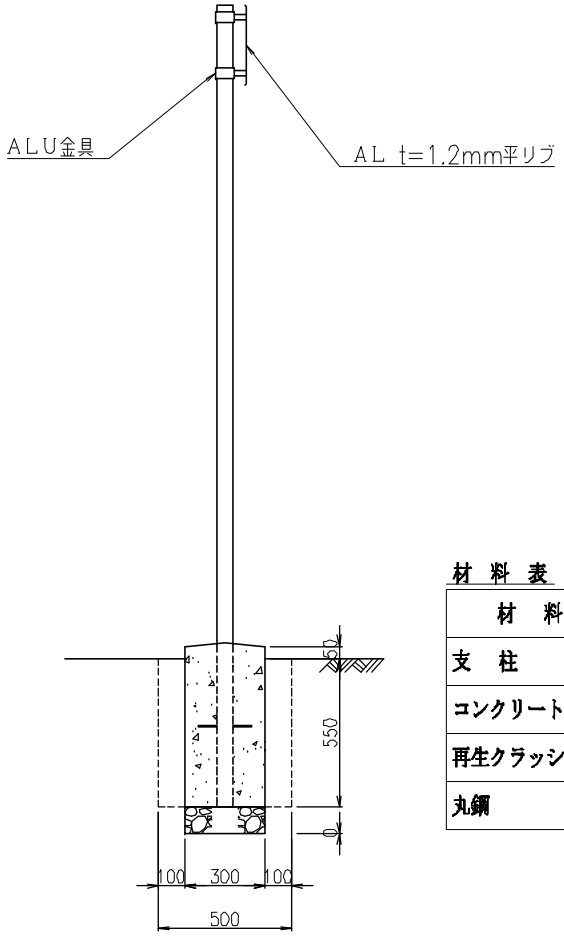
*2　控壁の高さは、塀の上端まで施工すること。

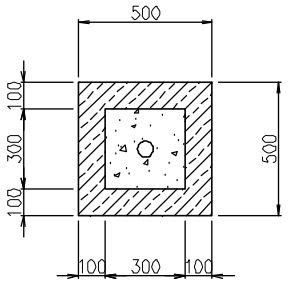
生産緑地標示板構造図　S＝1：20

正面図



側面図





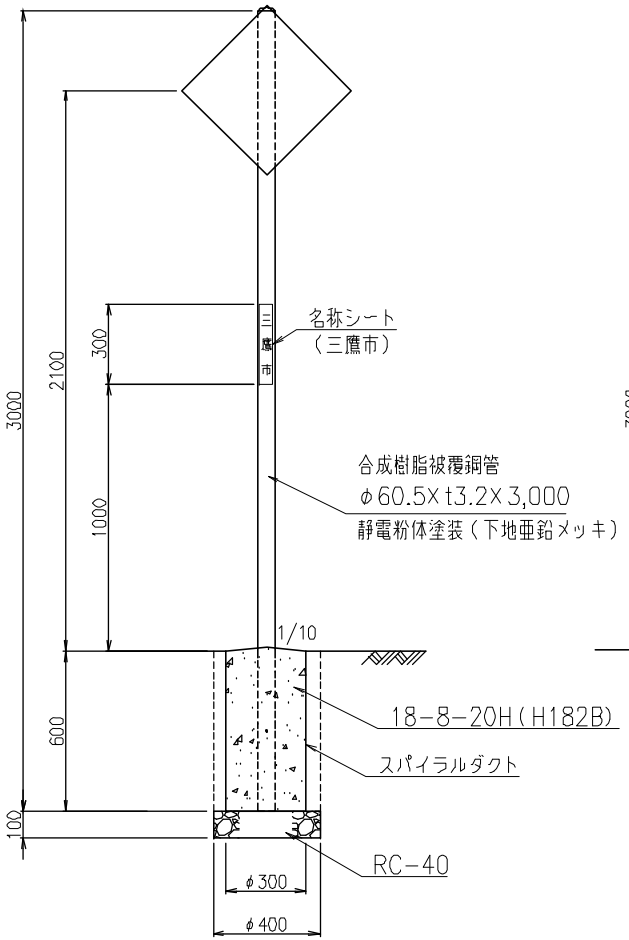
材料表　　(100箇所当り)

材料名	形状寸法	単位	数量
支柱	φ60.5×2.3×3,000	本	100
コンクリートブロック	300×300×600	本	100
再生クラッシャラン	RC-40	m3	0.9
丸鋼	φ9　L=200	本	100

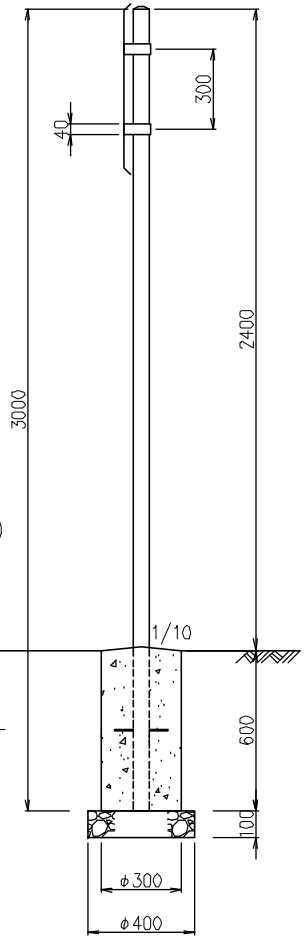
付帯工
警戒標識
―――

警戒標識構造図　S＝1：20

正面図



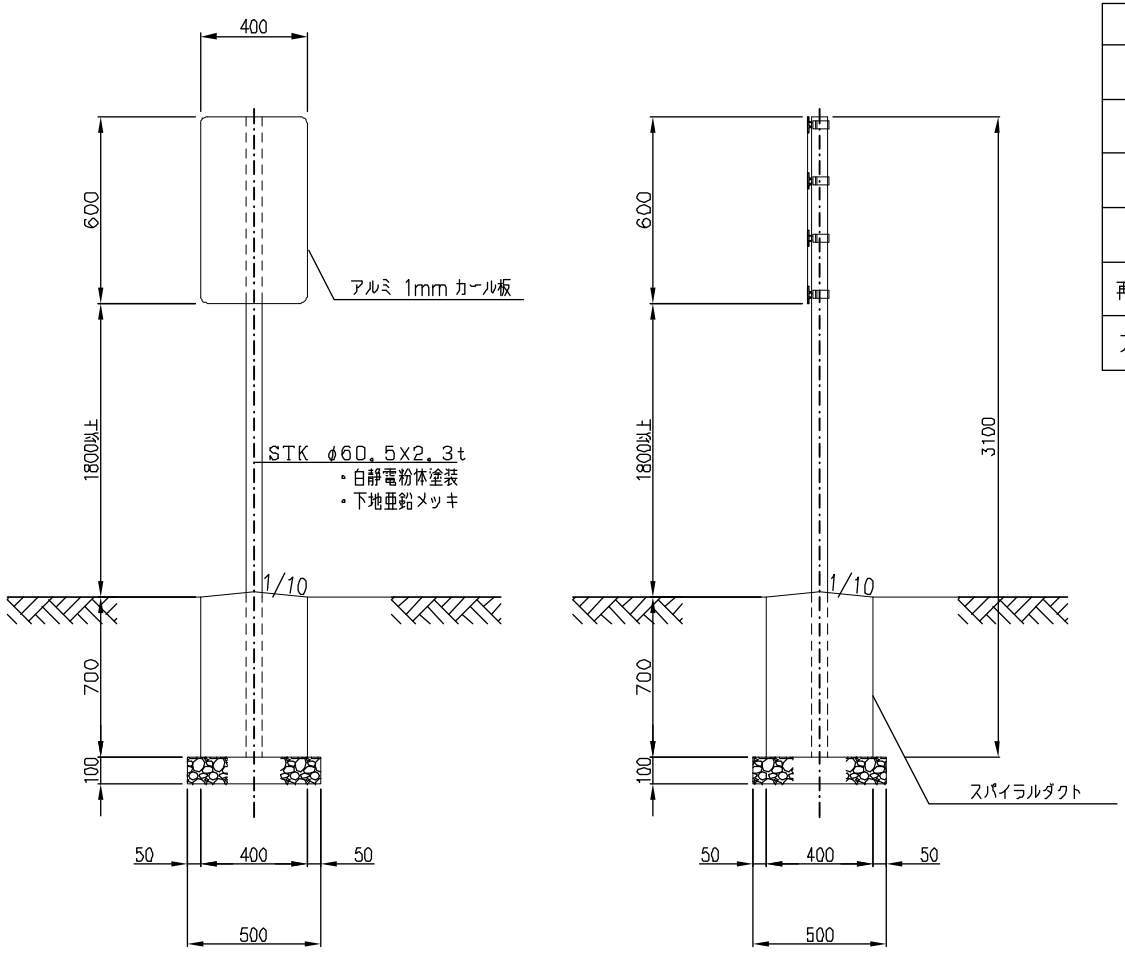
側面図



材料表　　（100箇所当り）

材料名	形状寸法	単位	数量
標識板	アルミ板 450×450×1.2カプセルレンズ型反射	枚	100.0
支柱	φ60.5×3.2×3,000	本	100.0
コンクリート	18-8-20H（H182B）	m3	4.2
再生クラッシャラン	RC-40	m3	1.6

案内標識板設置図　S＝1：20

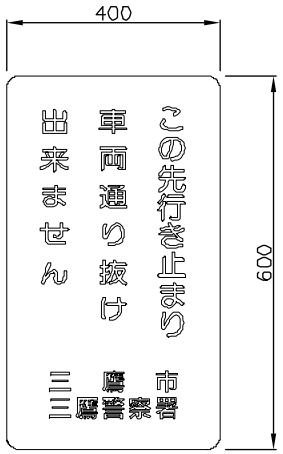


材料表

10基当り

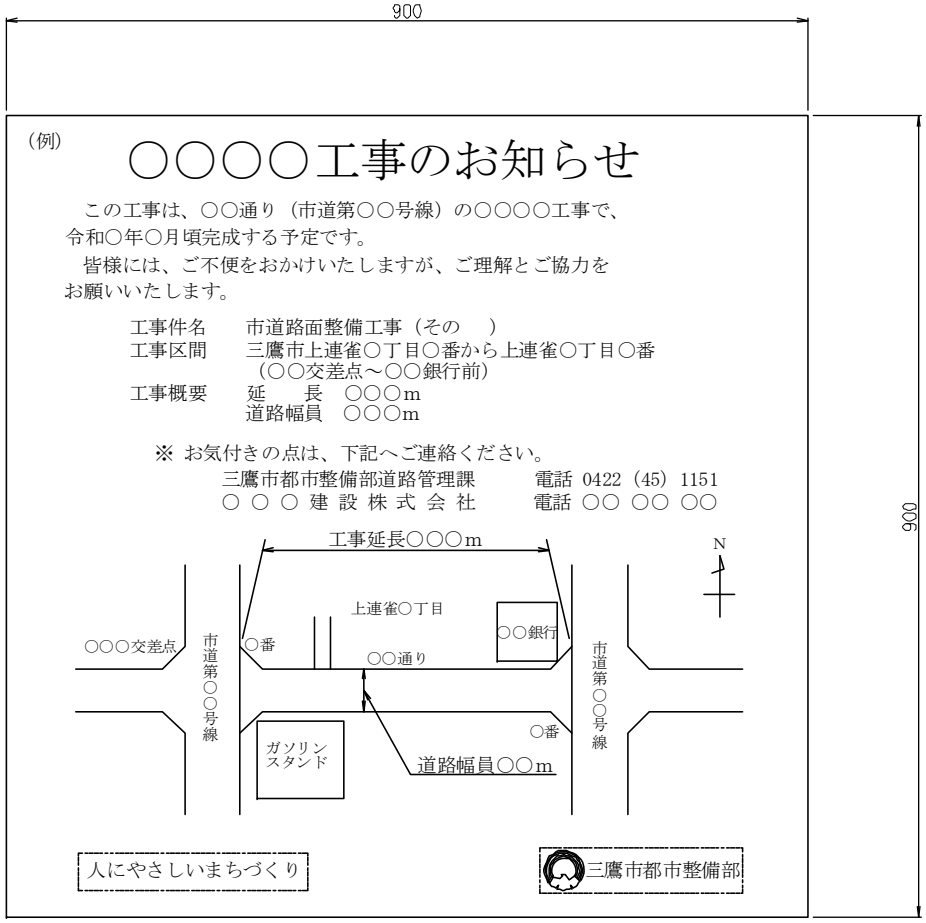
名　称	規　格	単位	数　量	備　考
標　識　板	アルミ板・カプセルレンズ型・カール板 600×400×1.0t	m^2	2.4	
標識板取付金具	アルミUバンド φ60.5用	組	40	
標識本柱	溶融亜鉛メッキ　STK400 φ60.5X2.3tX2400L	本 (kg)	10 (79.2)	
基礎コンクリート	18-8-20H(H182B)	m^3	0.86	
再生クラッシャラン	RC-40 100×500×500	m^3	0.25	
スパイラルダクト	φ400	m	7.0	

レイアウト図　S＝1／10



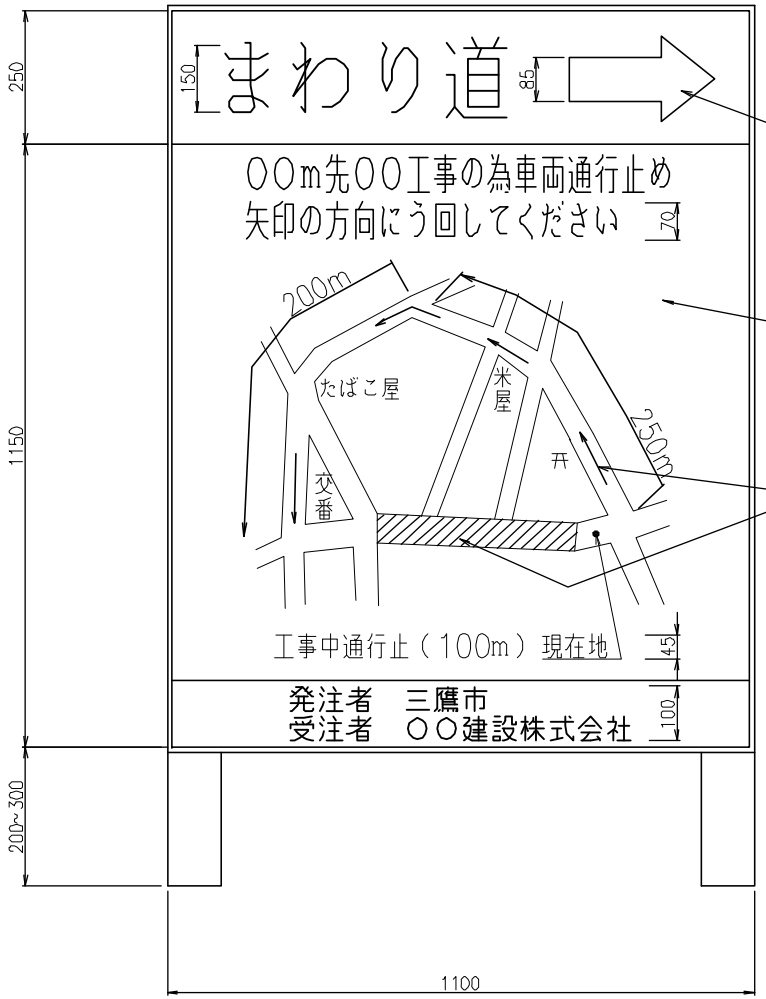
（注）文字は白地に黒　ただし「この先行き止まり」は赤字とする

広報板C型（参考）



① 標題は簡潔で、分かり易い表現とする。「市道路面整備工事」「私道整備工事」「歩道整備工事」等
② 工事の内容は、設計書の工事名にとらわれず、具体的で、一般的に理解されやすい表現とする。「道路の舗装工事」「歩道のブロック舗装工事」等
また、工事の種類により説明等を加えてもよい。
③ 工事の完成時期は、契約工期にとらわれることなく、当該工事全体の完了時期とする。
④ 工事区間は、町名のみでなく、分かり易い目標も示すように努める。また、地図などを併用しても良い。
⑤ 工事概要は、工事延長、道路延長（車道、歩道の別）等を記入する。
⑥ 三鷹市のCIテーマ及び、シンボルマーク・部の表示を記入する。

迂回指導板記載例（参考）



右または左迂回させる方向に朱書きすること。

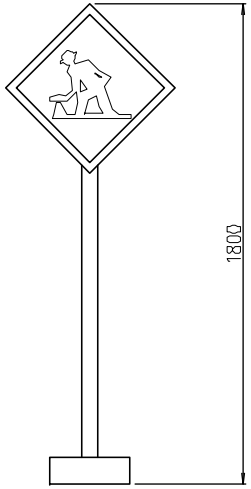
特に指定した以外は白地に黒文字とすること。

矢印および通行止め区間は朱書きとすること。

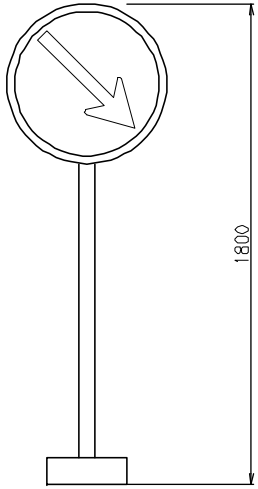
※注　1。夜間は、白色照明灯をもって、照明しておくこと。
　　2。施工時間外は、交通の支障のない場所に撤去し、
　　裏返しにしておくこと。

保安施設・標識類参考図

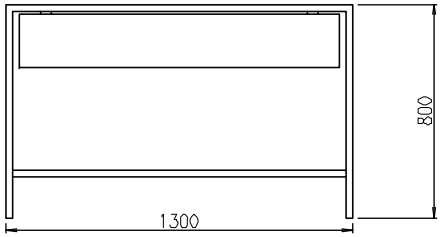
工事警戒標識　記号 ◇



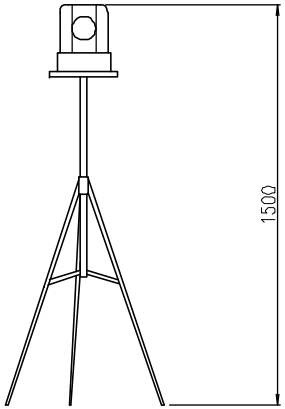
方向規制標識　記号 ⊘



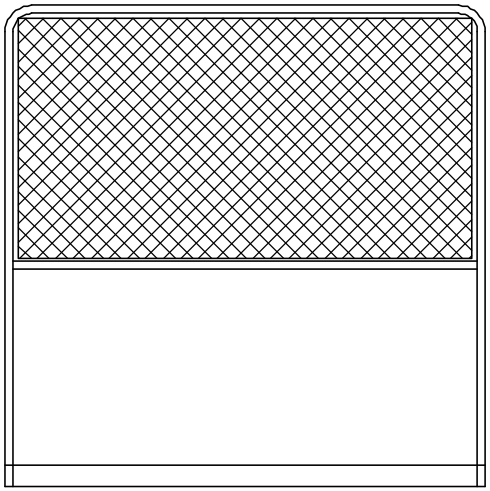
バリケード　記号 ++



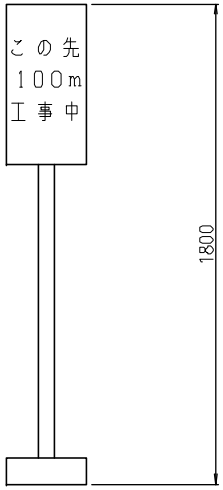
回転工事灯　記号 ◎



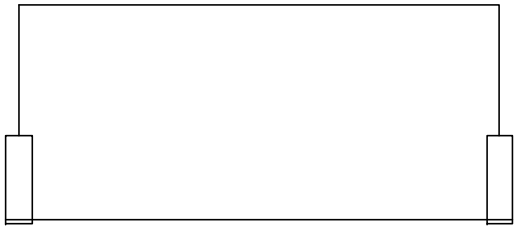
フェンスバリケード



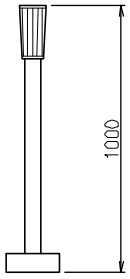
工事予告板　記号 □



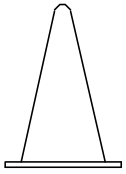
パネル及びパネル止具



保安灯　記号 ○

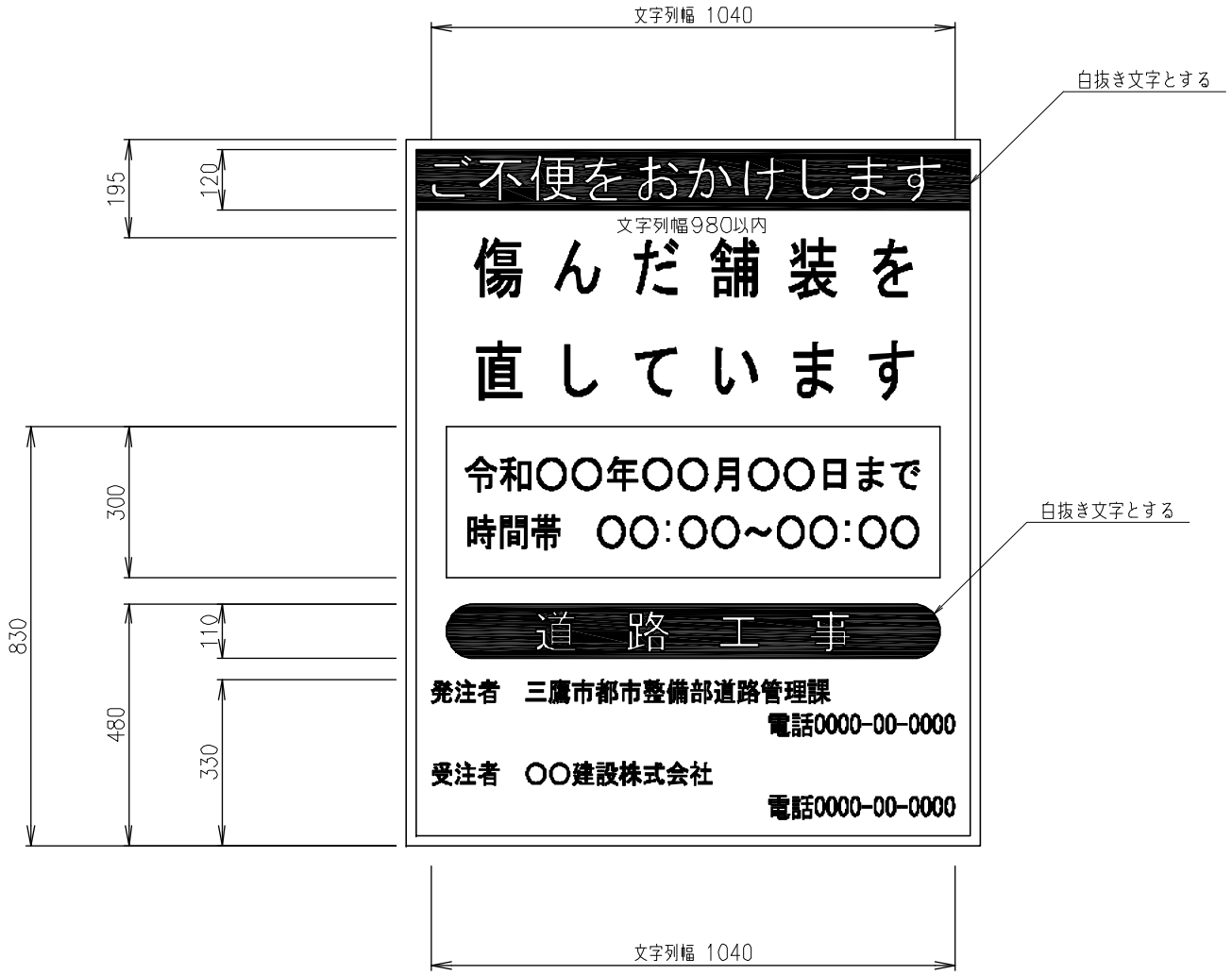


カラーコーン　記号 △



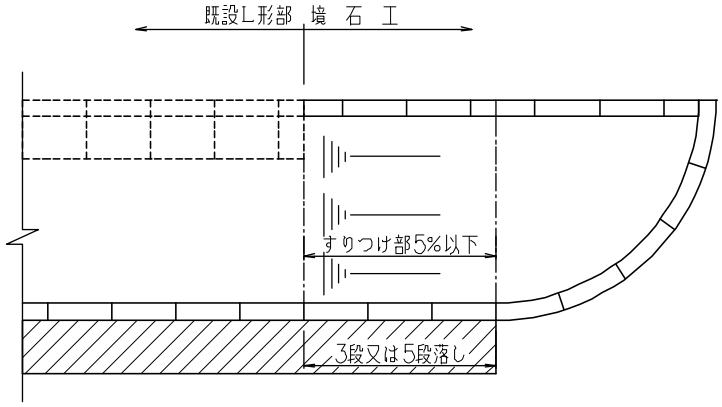
※ 保安材の色、デザインなどは、現場のイメージアップを考慮したものを使用すること。

工事表示板詳細図

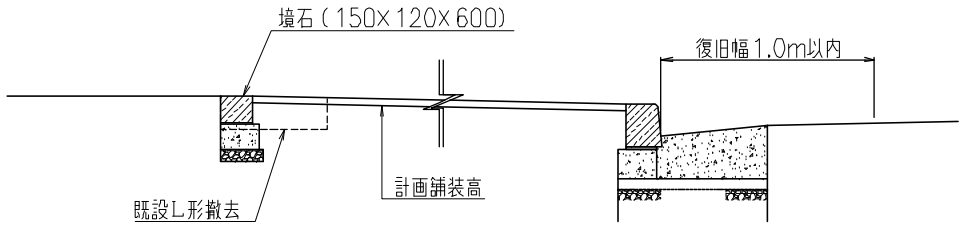


W1，140×H1，400mm

巻込部切下げ構造図（既設Ｌ形溝のある場合の歩道化）



※注１　摺付部については、止石の高さ10ｃｍの場合はブロック3本、15ｃｍの場合は、ブロック5本とする。

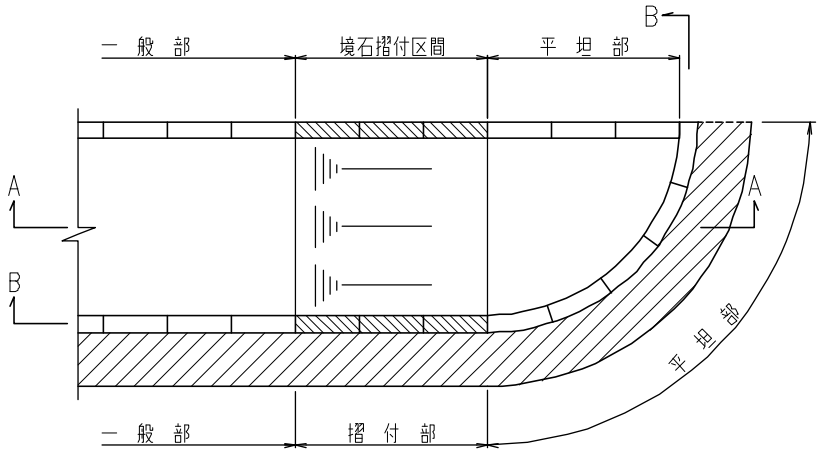


設置基準

1. 既設Ｌ形の高さが民地と同等であり、下げた時に民地に支障を生じる場合。
2. 既設Ｌ形の高さを変えても民地に支障のない場合。

巻込部切下げ構造図

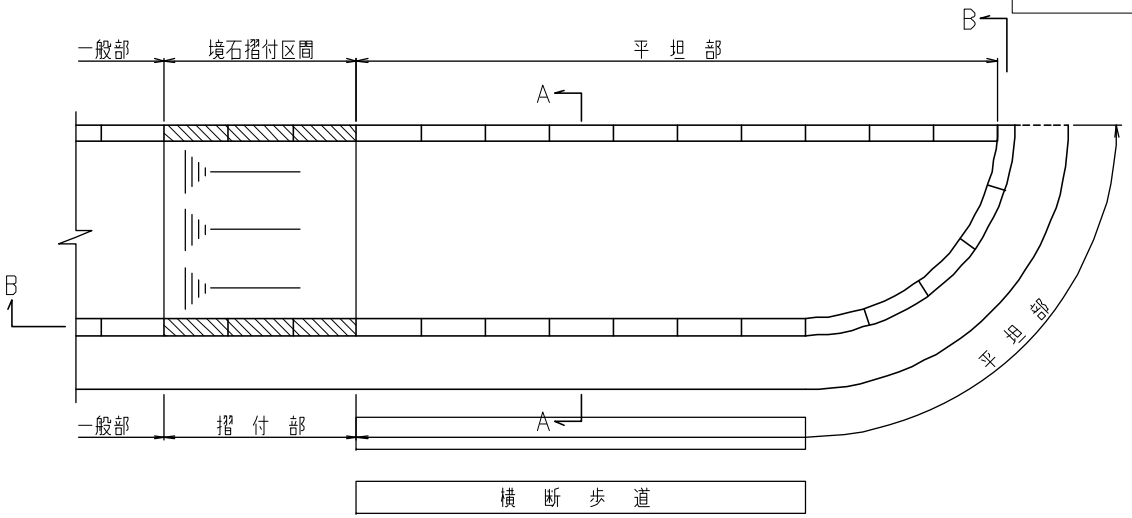
歩道巻込部の切下げ



注1　歩道部に進入する車両が乗入れないよう歩道幅員に応じて適切な防護施設を考慮すること。

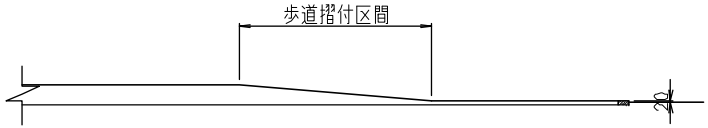
注2　摺付部については、止石の高さ10cmの場合はブロック3本、15cmの場合はブロック5本とする。

巻込部に横断歩道がある場合

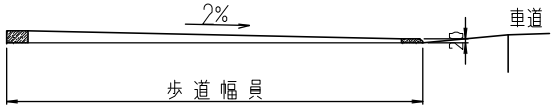


注　左折、右折する車両が乗入れしないように、横断舗装に応じて防護柵などを考慮すること。

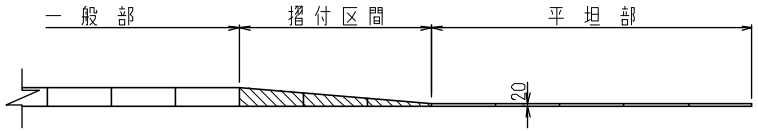
A−A 断面図



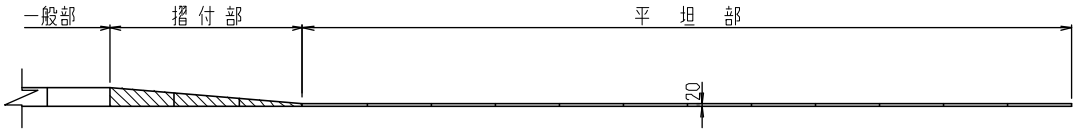
A−A 断面図



B−B 展開図

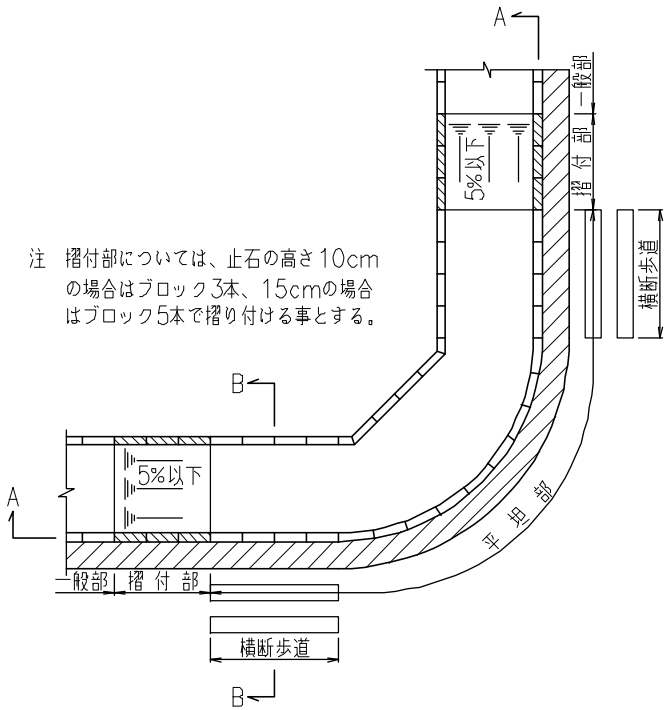


B−B 展開図



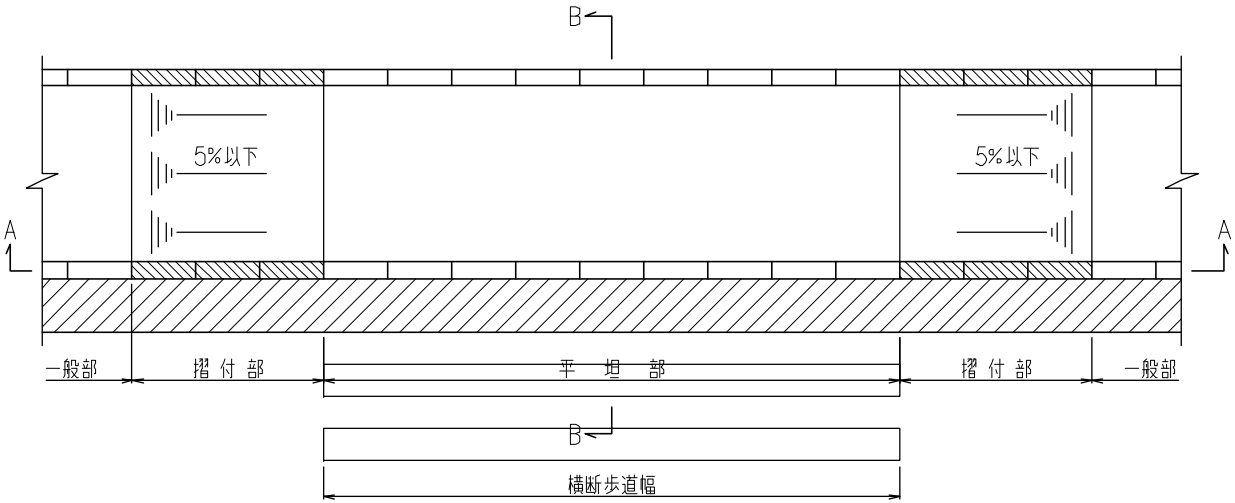
横断歩道部切下げ構造図

交差点で横断歩道の併設された歩道

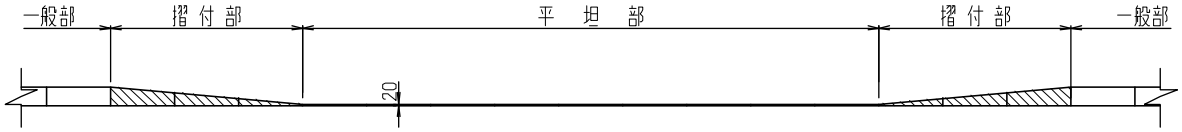


注　摺付部については、止石の高さ10cmの場合はブロック3本、15cmの場合はブロック5本で摺り付ける事とする。

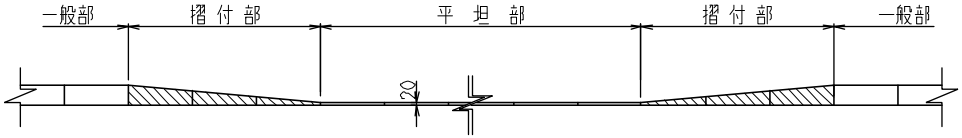
横断歩道箇所の切下げ



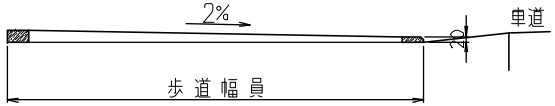
A−A 断面図



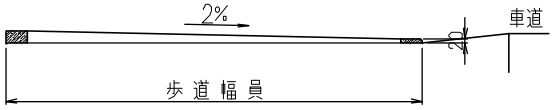
A−A 展開図



B−B 断面図

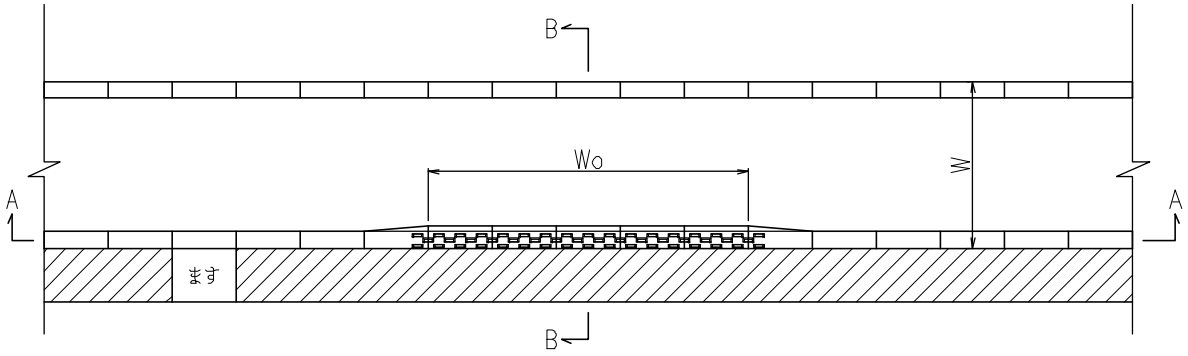


B−B 断面図

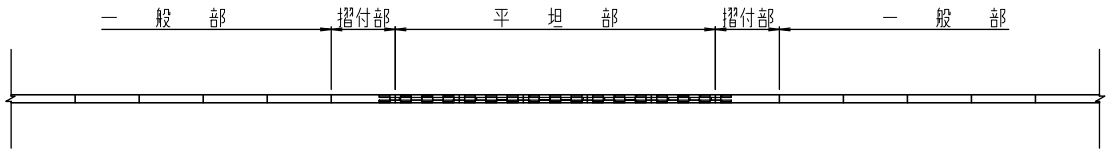
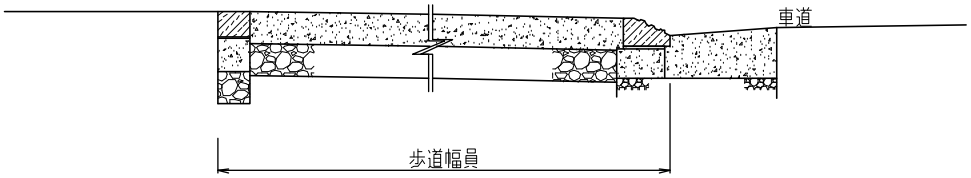


車乗り入れ部切下げ構造図（改良江戸川型）

A－A 断面図



A－A 断面図



B－B 断面図